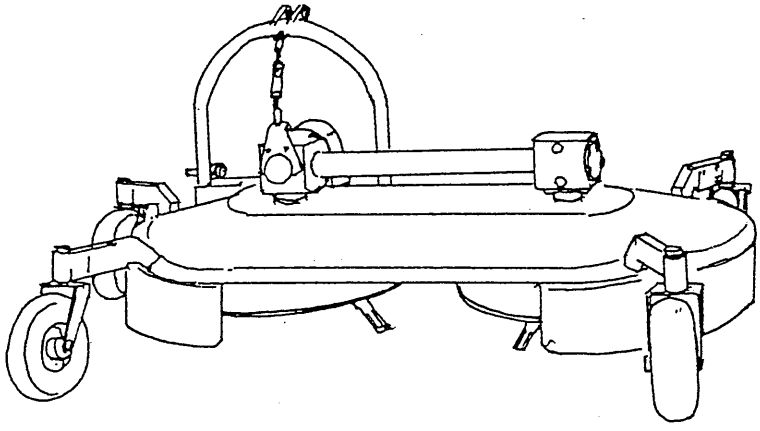
Sasaki

取扱説明書

ロータリーモア

RC161A



当商品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
使用前に必ずお読みください。
お読みになった後も必ず商品に近接して保管してください。

9511-RC1611000-0

目　次

はじめに——1
安全に作業するために——2
◎一般的な注意事項——2
◎作業の前に——3
◎トラクタへの着脱——4
◎路上走行——5
◎圃場の出入り——5
◎作業をしているとき——6
◎トラクタを止めるとき——7
◎点検や格納のとき——7
安全銘板貼り付け位置——8
保証とサービスについて——9
◎保証書について——9
◎アフターサービスについて——9
◎補修部品の供給年限について——9
組立要領——10
装着方法——10
◆ユニバーサルジョイントの切断方法——11
オフセットの方法——12
刈り高さの調整——12
給油——13
作業方法と注意——13
保守管理——15
主要諸元——15

ササキ商品をお買上げいただき、
誠にありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は溝掘機の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- 溝掘機は田畑の排水溝を作る作業機です。その他の目的で使用しないでください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社又は当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。
  その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- ⚠印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

⚠危険	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。
⚠警告	その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

安全に作業をするために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン 」として説明の都度取り上げております。

◎一般的な注意項目

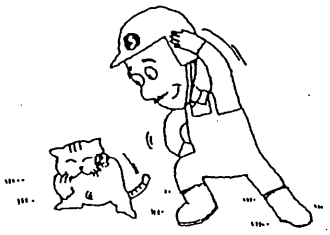
⚠ 警告　こんなときは作業をしない。

過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。

酒を飲んだとき。

妊娠しているとき。

１８才未満の人。

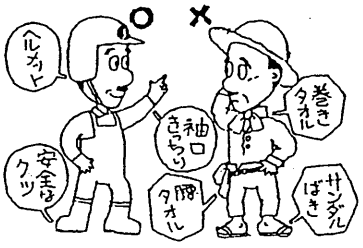


⚠ 警告　作業に適した服装をする。

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などをつけ、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。

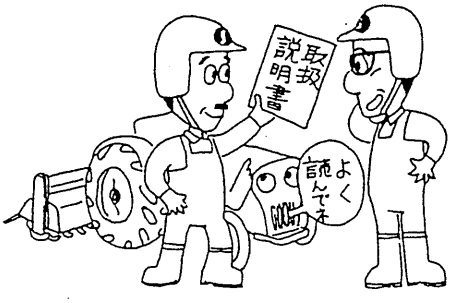


⚠ 警告　機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する。

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

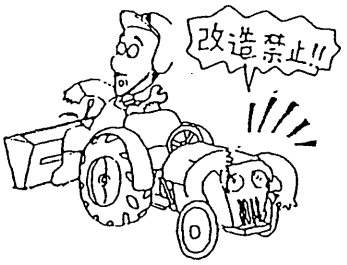
【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



⚠ 注意　機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。



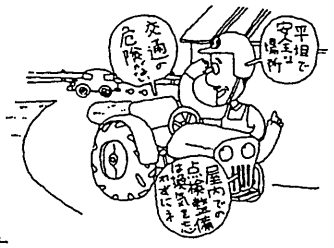
【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

◎作業の前に

⚠ 警告　仕業点検整備は平坦で安定した場所で行う。

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止めをして点検整備してください。

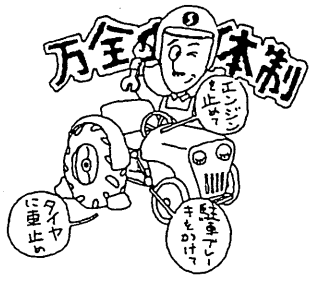


【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

⚠ 警告　点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。



【守らないと】

機械の下敷きになるなど、障害事故をおこすおそれがあります。

⚠ 注意

◇作業の前には点検・整備を行ってください。

◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。

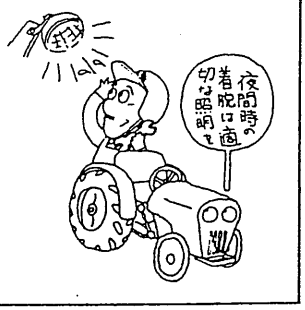
◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

◎トラクタへの着脱

⚠ 警告　作業機の着脱は平坦な場所で行う

作業機の着脱は平坦で安定した場所で行ってください。

夜間は、適切な照明をしてください。



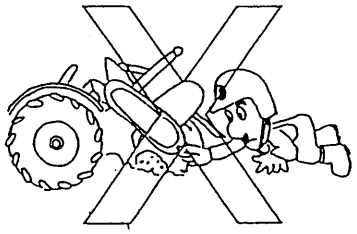
【守らないと】

事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告　作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないで

ください。



【守らないと】

何かの原因で作業機が下がったときに、障害事故を負

うおそれがあります。

⚠ 危険　運転時はジョイントカバーを外さないでください

【守らないと】

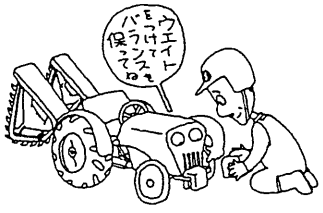
ジョイントに巻き込まれて障害事故をおこすおそれが

あります。

⚠ 警告　重い作業機をつけるときはウエイトでバランスを取る

重い作業機を装着したときは、フロントにバランス

ウエイトをつけてバランスを保ってください。



【守らないと】

バランスを崩して事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意

◇トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてＰＴＯ変速を中立にしてください。

◇二人以上で着脱を行う場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。

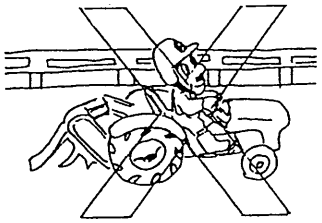
◇ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。

◇取付け部の止めピンが全て確実に装着されているか確認してください。

◎路上走行

⚠ 注意　公道走行時は作業機の装着禁止

公道走行をするときは、作業機を取り外してください。



【守らないと】

道路交通法違反です。事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意

◇トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。

◇作業機の回転を止めて走行してください。

◇トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。

◇旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。

◇作業機を装着した時、機体寸法が大きくなるので移動走行時は十分注意してください。

◇溝のある農道や両側が傾斜している農道では、路肩に十分注意して移動してください。

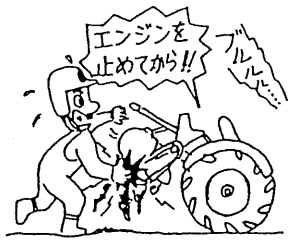
◎圃場の出入り

⚠ 注意

圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、アゼや段差に対して直角に進んでください。 アゼや段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

◎作業をしているとき

⚠ 警告　回転部(爪、刃、軸等)に巻き付いた草等を取る時はエンジン停止



【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。

⚠ 警告　子供を近づけない

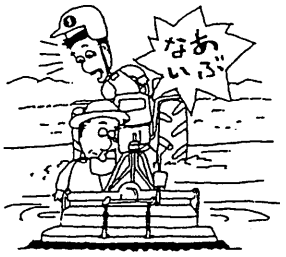
子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引きおこすおそれがあります 。

⚠ 警告　トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機と着脱するときは、トラクタ
の周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。



【守らないと】

傷害事故をひきおこすおそれがあります。

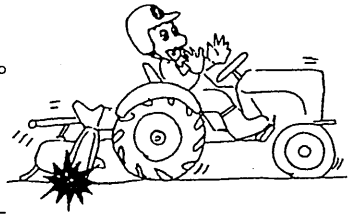
⚠ 警告　作業機指定のＰＴＯ回転を守る

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。

作業機指定のＰＴＯ回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引きおこします。



⚠ 注意

◇補助作業者がある場合は、動作ごとに合図をかわして下さい。

◇回転部分が動くところには触れないで下さい。

◎トラクタを止めるとき

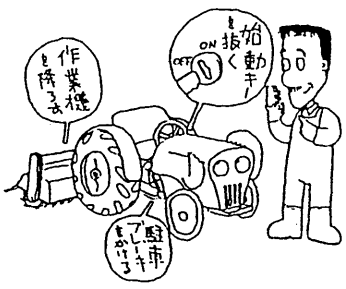
⚠ 警告　機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンを止める

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け輪止めをしてください 。

作業機を地面に降ろしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故をおこすおそれがあります。



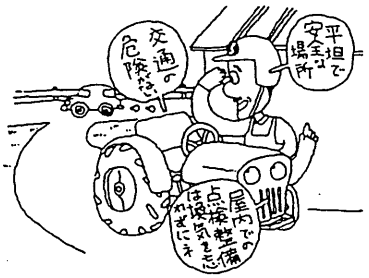
◎点検や格納のとき

⚠ 警告　点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止めをして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



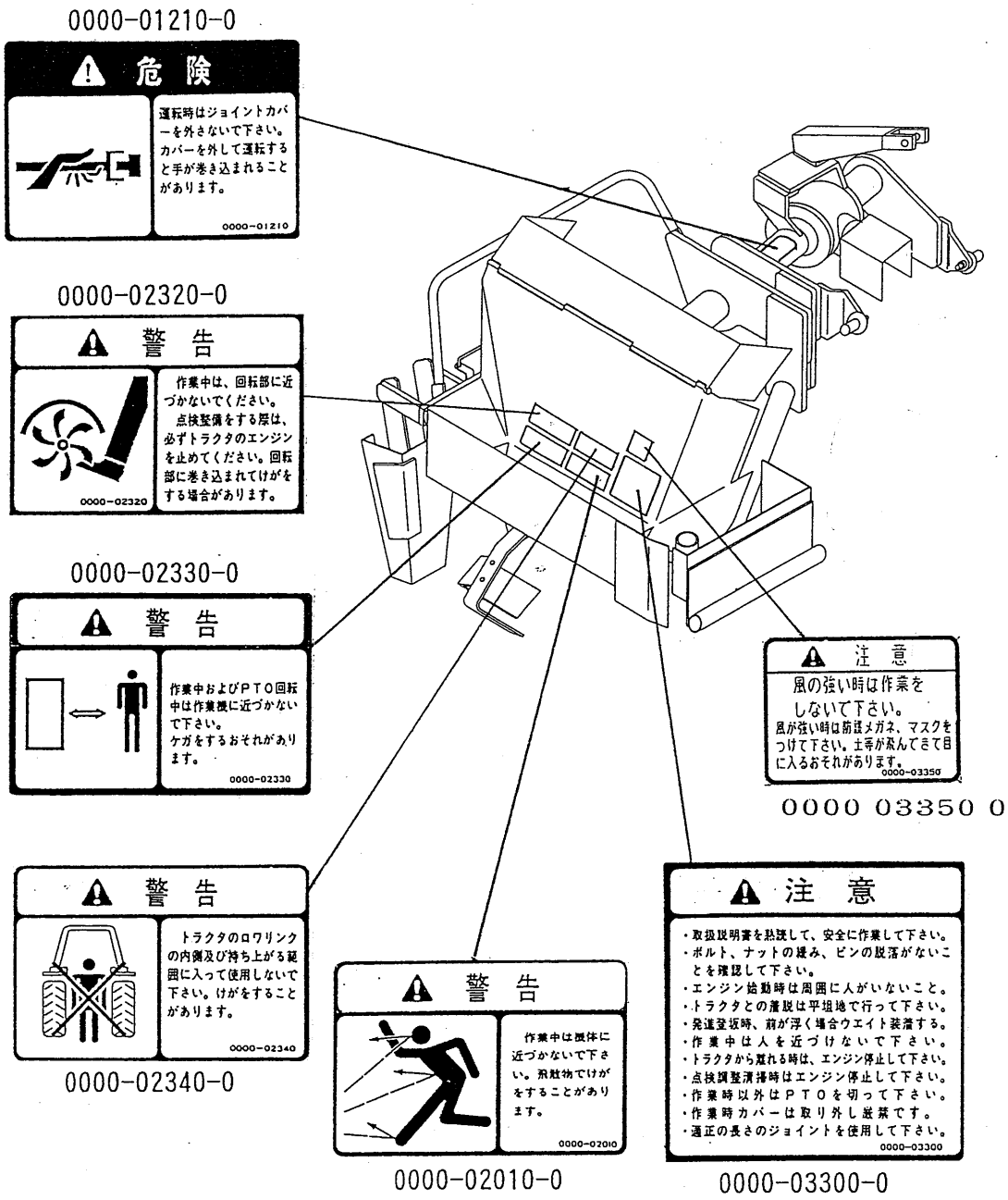
⚠ 注意

◇点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。

◇機械の下にもぐったり、下で作業をしないでください。

◇キャスターなどが付いている場合、車止めをして作業してください。

安全銘板貼り付け位置



⚠注意 ☆安全銘板が破損したり、はがれた場合は、上記番号にて手配のうえ、貼り直してください。

☆新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

保証とサービスについて

◎保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

◎アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点等不具合がある場合はお買い上げいただいた販売店等へご相談ください。その際、次のことをご連絡ください。

◇型式名

◇製造番号

◇不具合状況

（どのような現象ですか？・・・）

◇ご使用状況は？

（どのくらい作業をしていましたか？・・・）

◇不具合が発生した時の状況をできるだけ詳しくご連絡ください。

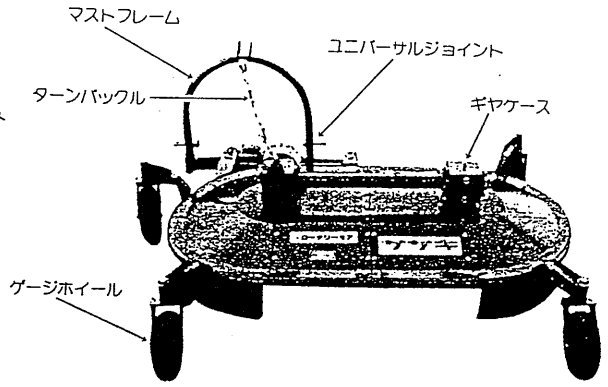
（どんな作業をしていたときに？・・・）

◎補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限は製造打ち切り後９年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

組立要領

図に基づいて組立を行ってください。
また、各部のボルト・ナット等の緩みがないか　確認してください。



装着方法

①トラクタへの装着は平坦な所で行ってください。
②ロータリーモアをトラクタの３点リンクに装着してください。ロワリンクの高さが左右同一になるようにレベリングハンドル等で調整してください。
③尾輪が全て接地するようにトップリンクで調整してください。
④ロータリーモアをリフトして機体の横揺れを防止するためチェックチェーンを張ってください。ピーンと張った状態からターンバックルを半回転から１回転ゆるめてください。
⑤ユニバーサルジョイントを装着してください。ユニバーサルジョイントの長さはトラクタによって異なりますので、適正な長さに切ってお使いください。（切断方法を参照）
⑥ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように付属のチェーンをトラクタ及びロータリーモアの一部につないでください。

⚠警告

①作業機の着脱は平坦な所で行ってください。さもないと、作業機が動いて思わぬ事故を起こすおそれがあります。
②作業機の下にもぐったり、足を入れないでください。さもないと、作業機が急に落下して思わぬ事故を起こすおそれがあります。
③トラクタと作業機の間に不用意に入らないでください。挟まれたり、ジョイントに巻き込まれたりするおそれがあります。
④トラクタから離れる時は、必ずエンジンを止め、駐車ブレーキをかってください。
⑤二人以上で作業をするときはお互いに合図を確認し合って作業をしてください。特に、トラクタのエンジンを掛けるときや、エンジンが作動している間は十分に気を付けてください。

⚠危険

ジョイントカバーは必ず取り付けてください。さもないと、手、衣服等が巻き込まれて死傷するおそれがあります。

⚠注意

①トラクタのＰＴＯ変速は中立にしてください。

②作業機の回りに人を近づけないでください。特に、子供には注意してください。

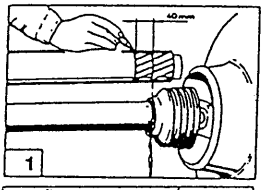
③ジョイントのノックピンが確実に入っていることを確認してください。

④取り付けしたボルト・ナット類は確実に締め込んでください。ピン類の脱落がないか確認してください。

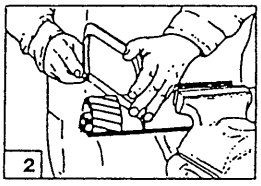
◆ ユニバーサルジョイントの切断方法

ユニバーサルジョイントの長さはトラクタによって異なりますので、必ず適正な長さに切断してから装着してください。

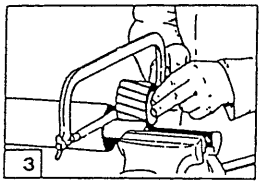
①ユニバーサルジョイントのオス・メスを外してトラクタと作業機の最短の作動位置に合わせ、オス・メスの安全カバーの間隔が４０㎜になる位置にマークをつけてください。



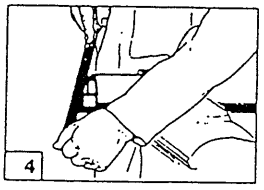
②オス・メスの安全カバーにマークをした等しい長さだけ安全カバーを切断してください。



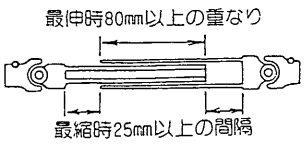
③オス・メスの内・外筒チューブを安全カバーを切断した部分と同じ長さだけ切断してください。



④切断後は切り口にヤスリをかけ、バリを取り除きスムースにスライドできるようにしてください。



☆最伸時の重なりは８０ｍｍ以上、最縮時の間隔は２５ｍｍ以上必要です。



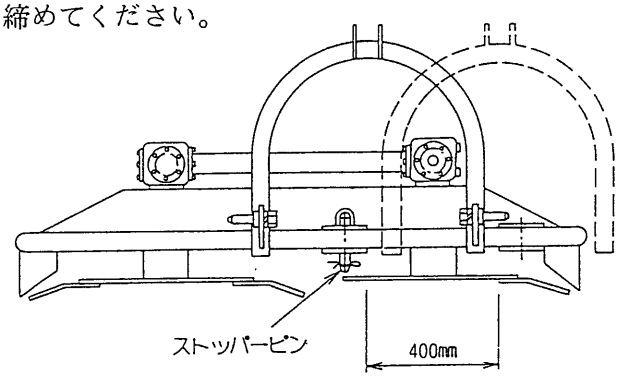
オフセットの方法

トラクタが入れないような木立回りの下草刈り等の作業は本機をオフセットして使います。

①ターンバックルを緩め、マストフレーム側のピンを外します。

②ストッパーピンを抜いて本体を回動させオフセットの位置にします。この時、トラクタの３点リンクを少し上げるとスイングが軽くなります。

③オフセット後、ストッパーピンでロックし、ターンバックルのピンを取り付け、ターンバックルを締めてください。



⚠警告

①オフセットする場合やオフセットから戻す場合は、必ずトラクタのエンジンを切ってから行ってください。思わぬ事故を起こす場合があります。

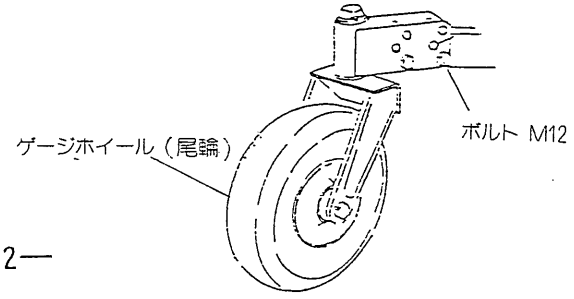
②ストッパーピンは必ずＲピンで確実にロックしてください。

刈り高さの調整

刈り高さは35㎜と70㎜の２段階に調整できます。

尾輪取り付けブラケットの取り付け穴位置により刈り高さを調整します。調整後はボルトが確実に締まっているか確認してください。

刈り高さが低すぎると土や石などに接触しやすくナイフの摩耗が早くなります。



給油

給油箇所の名称	給油箇所	オイルの種類	給油の間隔	備　考
ギヤボックス	2	ギヤオイル＃80	1回目　20時間目 2回目以降1年毎	全量交換 0.4ℓ×2
ユニバーサルジョイント	4	グリース	作業前後	
上記以外の滑動部		ギヤオイル＃80	作業前後塗布	

作業方法と注意

（1）刈取作業

①トラクタ油圧で本機を地面に静かに降ろし、人・家畜がいないことを確認してから静かにＰＴＯクラッチを入れてください。

ＰＴＯクラッチを入れるときはエンジン回転を低速で入れ、徐々に回転を上げてください。

②刈取作業を行う場合、３～５ｍ程度の助走を取り、ＰＴＯ回転数が５４０ｒｐｍに上がってから刈取作業に入るようにしてください。

⚠注意

ディスクの回転が低いまま作業をしますと刈取りが不揃いとなりますので注意してください。

③作業速度は２～８㎞／h、ＰＴＯ回転数は５４０rpmで作業してください。

④圃場の条件や草量、あるいは運転の熟練程度により作業速度を選定してください。

⑤あらかじめ圃場の状態を調査しておき、走行方法を検討してから作業を行ってください。また、コーナーの作業は大きく旋回してください。

⚠警告

急旋回での作業は圃場や機械を傷めるばかりでなく、転倒事故につながりますので絶対にしないでください。

⑥本機を上げたままディスクを高速回転させないでください。

⑦作業中、異常音が発生した場合は、直ちに作業を中止してＰＴＯクラッチを切り、エンジンを停止してから原因を調査してください。処置後は安全を確認してから作業を再開してください。

⚠警告

機械の点検をするときは必ずエンジンを停止し、駐車ブレーキをかってから点検作業をしてください。また、平坦地まで移動してから点検作業を行ってください。

（２）ナイフ

①ナイフは両刃ですので摩耗や損傷が激しい場合には、隣のディスクに移し替えて使用できます。また、研磨しますと切れ味もよく刈跡が一段ときれいになります。

②摩耗が激しく交換が必要な場合は、各ディスク毎に全枚数を交換してください。バランス上、部分交換はしないでください。

③ナイフの取付ボルト・ナットやディスクの固定ボルトは必ずササキ純正部品を使用してください。代用品の使用は事故発生の原因となります。

⚠警告

ナイフ等の交換作業は必ずエンジンを停止して駐車ブレーキをかい、機械が落下しないように落下防止柵を機械の下にかってから行ってください。

（３）安全装置（シャーボルト）

地上の異物にぶつかったり、ＰＴＯクラッチを高速回転のまま急につないだりして回転部分に異常な抵抗がかかった場合に、ユニバーサルジョイントと入力軸をつないでいるシャーボルトが切断して機械内部の保護をする機構になっています。

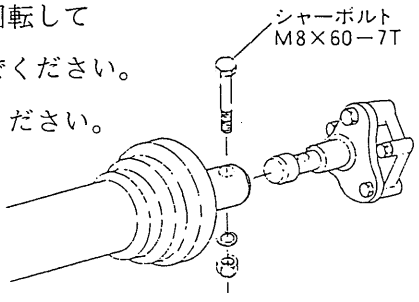
シャーボルトが切れた場合は直ちにエンジンを停止しその原因を調査してください。

エンジンを切った直後はディスクがまだ高速回転しているおそれがありますのでモアに近づかないでください。

シャーボルトは必ずササキ純正部品をご使用ください。

シャーボルトサイズ	Ｍ８×６０－７Ｔ

代用品の使用は事故発生の原因となります。



（４）安全カバー

安全カバーはオペレータの安全のために必ず装着してください。

（５）移動方法

作業終了後、ＰＴＯクラッチを切ってエンジンを止め、ロータリーモアをきれいに清掃してから移動してください。

⚠注意

①純正部品を使用してください。純正部品以外を使用しますと事故の原因になります。

②ジョイントカバーは必ず装着したまま作業してください。

⚠警告

①移動時は絶対にＰＴＯクラッチを入れないでください。

②オフセットのまま移動しないでください。

保守管理

（１）作業シーズン中の保守管理

①作業終了後には本体をよく清掃し、給油してください。

②ボルト・ナット、ピン類の緩み、脱落がないか点検してください。

（２）作業シーズン終了後の保守管理

①各部の清掃を完全に行って給油箇所全てに給油してください。

②各部を点検し、損傷した箇所は早めに修理または部品交換をしてください。

③格納する場合には、必ず台の上に置き、車止めをして、湿気やほこりのない場所に安定よく格納してください。

主要諸元

型　　式	ＲＣ１６１Ａ
規　　格（作業巾）	１６０cm
適応トラクタKW(PS)	11.0~33.1(15~45)
重量（kg）	１６５

全　　長（mm）	１４０５
全　　幅（mm）	１８６０
全　　高（mm）	７７０
オフセット幅（cm）	４０

株式会社
ササキコーポレーション

本社・工場：〒034-8618 青森県十和田市里ノ沢1番地259　☎0176-22-3111　FAX0176-22-8607
本社営業部：〒034-8618 青森県十和田市里ノ沢1番地259　☎0176-22-0170　FAX0176-25-3127
部品センター：〒034-0001 青森県十和田市里ノ沢1番地75　☎0176-25-3170　FAX0176-25-3171

北東北営業所：〒034-0001 青森県十和田市里ノ沢1番地75
☎0176-23-0354　FAX0176-23-9655
仙台営業所：〒981-1201 宮城県名取市下増田字北原東180
☎022-382-4877　FAX022-384-1641
関東営業所：〒329-0201 栃木県小山市粟宮1241-9
☎0285-45-8911　FAX0285-45-8910
北陸営業所：〒329-0201 栃木県小山市粟宮1241-9
☎0285-45-8911　FAX0285-45-8910
東京営業所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-12-7京橋ヨコタビル5F
☎03-5524-0161　FAX03-5524-0162